

は じ め に

令和4年に公表された文部科学省の調査では、通常の学級において、学習面又は行動面で著しい困難を抱える児童生徒が一定数在籍していることが示されました。現在、全ての教員に多様な児童生徒が学級に在籍していることを前提とした授業づくりや学級経営が求められています。また、特別支援教育の充実に向けて、校長のリーダーシップの下、学校全体で組織的に取り組む体制整備が重要であることが、国の報告や計画の中で繰り返し示されています。令和5年6月16日に閣議決定された第4期教育振興基本計画においても、「誰一人取り残されず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育の推進」が基本方針として掲げられ、児童生徒が抱える困難が多様化・複雑化する中で、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実やインクルーシブ教育システムの推進による多様な教育的ニーズへの対応が求められています。

こうした背景を踏まえ、愛媛県総合教育センター特別支援教育室では、令和6年度から2年間、「特別支援教育の視点に立った個別最適な学びを実現するための校内支援体制づくりに関する研究－ニーズ調査を通じた学校サポート資料の作成－」に取り組んできました。

一年次のアンケート調査では、校長、特別支援教育コーディネーター、学級（ホームルーム）担任の先生方から、「どのような場面で困難さを感じているか」「どのような支援が必要と考えているか」といった率直な声や課題と感じていること、学校現場で日々工夫しながら取り組まれている実践を寄せていただきました。これらの声や事例を参考に、子ども一人一人の学びを支え、先生方の悩みに寄り添う資料となることを目指し、研究成果物として「サポすく！誰一人取り残さない学校づくりサポートブック」を作成しました。

学校（スクール）をサポートする「サポすく」には、次の三つの願いを込めました。

すくすく：子どもが自分らしく学び、安心して成長できる環境を整えること

スクラム：子どもを真ん中に、先生方がチームとして力を合わせ、保護者や関係機関等とも連携して成長を支えていくこと

すくいとる：子どもの困難さや先生の悩みを見逃さず、支援のヒントを得られること

これらの願いを形にし、現場で役立つ実践のヒントをまとめました。校内で共有し、チームで活用していただくことで、全ての子どもたちの個別最適な学びを実現する校内支援体制づくりに役立てていただければ幸いです。

最後に、アンケート調査に御協力いただいた先生方、研究協力者である愛媛大学加藤哲則教授、本資料の作成に御指導、御支援を賜りました全ての皆様に、心から感謝申し上げます。

令和8年3月

特別支援教育室

Check

「サポすく！」の見方

「サポすく！」は、全部で7章あります。各章や節が独立した構成になっており、単独で読んでも内容が分かるようになっていました。また、関連する章が示されているため、どこから読んでも必要な情報が得られます。



関連する章や節にすぐにアクセスできる！

関連する章や節などに、すぐにアクセスできるよう、

マークで示しています。

電子データで閲覧する場合は、クリックすると該当する章や節に移動します。



根拠資料や参考資料にすぐにアクセスできる！

根拠資料や参考資料に、すぐにアクセスできるよう、リンク先や二次元コードを付けています。

電子データで閲覧する場合は、クリックするとリンク先のウェブページが開きます。

[教育振興基本計画（本文）](#)



How about this?

「サポすく！」の使い方

校内研修や個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成、特別な教育的ニーズのある子どもの支援方法の検討など、様々な場面で御活用いただけます。

子どもの実態把握に！

支援方法を考える
ときの参考に！

校内研修に！

教職員間の
共通理解を
図るために！



校内研修での活用方法の提案

- 年度始めの校内委員会の役割や1年間の流れの確認に
- 職員会議後に10分間研修として
- 事例検討会の参考資料に
- 支援員向けの説明資料に

など

活用時の注意事項

OK

- 紙媒体や電子データで配布する
- 部分的に切り抜いて、研修資料として活用する

NG

- ×書き込みや修正



研修資料などに活用する場合は、出典を次のとおり明記してください。

愛媛県総合教育センター「サポすく！」

「1年間の流れ（役割別）」は、掲示用があります。
校長室や職員室に掲示してみませんか？

不明な点や御質問など、
お気軽にお問い合わせ
ください。

問合せ先

愛媛県総合教育センター
特別支援教育室
TEL (089) 909-7424
Mail
tokusi@school.esnet.ed.jp

